

太陽觀測報告 (1923年9月)

三澤勝衛

日	黒點群	黒點數	大黒點數	白紋	備 考
1	1	3	0	1	黒點は昨日迄の白紋より變りしものにて白紋に圍まれ赤道の南方にて且つ可成の高緯度にあり。
2	1	8	0	1	白紋は黒點群の圍にあり。
3	1	11	2	0	
4	1	15	1	0	黒點群は本日午後中央子午線通過。
5	1	8	2	0	
6	1	7	1	0	
7	1	10	1	0	
8	2	4+3=7	1+0=1	2	3個よりなる新黒點群東端赤道の北方に出現 白紋は各黒點群の圍にあり。
9	2	11+1=12	2+1=3	2	觀測者河西慶彦氏白紋は東方黒點群の圍にあり(三澤曰く西方の黒點數多きは觀測者の異なる爲めか)。
10	—	—	—	—	雨後曇。
11	1	5	1	0	4日中央子午線通過の黒點群本日は既に西端に没す。
12	1	4	1	0	
13	—	—	—	—	曇8日出現の黒點群本日中央子午線通過の筈
14	—	—	—	—	雨。
15	1	2?	1	?	雲の爲め觀測不充分。
16	1	2	1	0	
17	1	1	1	1	白紋は黒點群の圍にあり但し淡し。
18	2	1+2=3	1+1=2	1	2個よりなる黒點群中央子午線のやや西方に突發白紋は西端黒點群の圍にあり。
19	1	1	1	1	18日中央子午線通過のもの本日は既に西端に没す白紋は大黒點の圍にあり。
20	0	0	0	0	18日突發の黒點群本日俄に消失。
21	—	—	—	—	雨。
22	0	0	0	1	白紋は西端にあり點紋状のもの數個よりなる
23	0	0	0	0	
24	—	—	—	—	曇後雨。
25	1	4	1	1	白紋に圍まれたる新黒點東端赤道の南方に出現。
26	1	3	1	1	白紋は東方黒點の圍に。
27	1	7	1	1	白紋は東方黒點の圍に。
28	1	1	1	1	白紋は東方に大規模なれども淡し。
29	1	1	1	1	白紋は東方に大規模なれども淡し。
30	—	—	—	—	雨、25日東端に發見の黒點群本日中央子午線通過の筈。

(114)

殆ど全月に亘り黒點出現次第に活動期に入りたるものの如し次に4日及30日に中央子午線通過のものは其週期並に構造等よりして同一のものの再現するが如し只後者は前者に比し甚しく赤道の方に移動せり。又18日突發せる大黒點のかかる激しき消長は余が觀測開始以來初めての現象なりとす。